



出戸地区で約500年守り継がれる祭礼  
**岩屋まつり参拝客でにぎわう**

出戸・岩屋虚空蔵尊の祭礼「いでと岩屋まつり」が9月13日に開かれ、県内外から大勢の参拝客が訪れました。訪れた皆さんは、町重要文化財の木造虚空蔵菩薩坐像などが祀られた岩窟堂を参拝した後、集落の皆さんによる豆腐汁などの振る舞いに舌鼓を打ち、懐かしく優しい味を堪能しました。今年は福島大学の学生らも地区住民と交流しながら祭礼の運営に協力しました（写真）。



西会津小で芸術鑑賞会  
**豊かな情操と創造性を高める**

9月12日、西会津小の児童や保護者などを対象に西会津中多目的ホールで劇団エンゼルによる児童劇「はじめに見えたもの」が行われました。児童らは、舞台上で繰り広げられる場面展開の面白さやスピード感、出演者の演技に歓声を上げながら、優しさや我慢することの大切さに感動していました。芸術鑑賞会は、豊かな情操と創造性を高めることを目的に毎年開催しています。



橋屋・そばの花ウォーキング  
**一面に広がる純白のソバの花**

9月9日、見頃を迎えた橋屋平のソバ畑をめぐる「そばの花ウォーキング」が橋屋そばまつり実行委員会の主催で開かれました。町内外から参加した親子連れなどの皆さんは、秋の訪れを感じながら純白のソバの花が咲き誇る絶景を堪能し、ソバ畑周辺を散策しました。同実行委員会では11月11日にそばまつりを計画しており、参加者には招待券が贈られました。



「西高立志塾」の生徒が新潟大学などを見学  
**西会津高生が大学見学会に参加**

8月24日、西高の特設部である立志塾（上級学校進学を目標に運営されている校内塾）の生徒が、新潟県の新潟大学と敬和学園大学を見学しました。参加した生徒らは、実際に大学の雰囲気を感じ取り、進学に対する士気が高まったようでした。今回の見学会は町の助成事業の一つで、生徒の目標の明確化と今後の勉強の励みにしてもらおうため実施しました。



五穀豊穡・商売繁盛を願う諏方・熊野両神社の祭礼

**響く「わっしょい！」 野沢まちなかに祭りの熱気があふれる**

諏方・熊野両神社の祭礼が9月15日から17日の3日間にわたり行われ、15日の宵祭りと17日の後祭りには勇壮な山車が、16日の本祭りには山車に加え威勢のよい神輿がまちなかを練り歩き、五穀豊穡・商売繁盛を願いました。祭礼のメインとなる16日の本祭りでは、最も重要な祭事である「神輿渡御」が行われた後、昼ごろから子ども神輿が、その後、本町有志会、すぐろく会、睦会による大人神輿がそれぞれまちなかに練り出しました。「わっしょい、わっしょい」「もぐめ、もぐめ」という力強い掛け声は夕暮れまで響き、途中、少しの雨に降られたこともなんのその、雨雲を吹き飛ばし、野沢まちなかは祭りの熱気であふれました。

また、祭礼中は野沢中央通りに露店が軒を連ね、目当ての食べ物などを求める家族連れなどでにぎわいました。

参加した皆さんも、訪れた皆さんも、野沢の秋の風物詩を楽しんでいました。